



photo/jun kishimoto

A água do mar é uma linda lágrima de amor no universo.

2021・12・17（金） 大阪日本ポルトガル協会第100回例会 MUZIC@NET・マリオネット コンサート（ホテルニューオータニ大阪／鳳凰の間）

1、「海」

湯浅隆

海はポルトガル人にとって特別な「何か」である。同様に海に親しい日本人は、その「何か」を、国を超えて理解できるように思う。ところで、私どものCDデビューは大阪日本ポルトガル協会発足の翌年、95年阪神淡路大震災の年だが、震災三日目、孤絶した神戸に海からのアクセスが可能であるとラジオで流れ、その直後にこの曲「海」が流れた。初めて自分のCDの曲をラジオから聴いた瞬間だった。上記ポル語の直訳「海の水は宇宙の愛の一粒の美しい涙です」

2、「暗いはしけ」

カコ・ヴェーリヨ

1955年仏映画「過去をもつ愛情」の中で、ファドの女王「アマリア・ロドリゲス」が歌い世界的にヒットし、「FADO」が広く世界に知られる契機になった。私どもはポルトガルギターのインスト演奏で、NHK名曲アルバム（大友直人指揮&東京フィル）を録音したのだが、同録共演の日程は調整がかなわず、なんと不遜にもオーケストラのカラオケを作ってもらった。右QRコードは映画「過去をもつ愛情」予告編。ポルトガルギターの古い響きがいい。「暗いはしけ」は1'30"あたりから少し聴ける。



3、「コインブラ／ポルトガルの4月」 ラウロ・フェラオン

世界遺産の街、そしてヨーロッパ最古の大学のあるコインブラに捧ぐ曲。ポピュラー曲としても有名。私どもは、やはりNHK名曲アルバムで東京フィルと共演。同録共演の際、オケの一番後ろのパーカッションの打点が、一番前で弾く我々には、時間差で裏に聞こえてリズムが取りにくく大変戸惑った。NHK101スタジオでの収録のほろ苦い思い出である。



4、「南蛮渡来」

湯浅隆

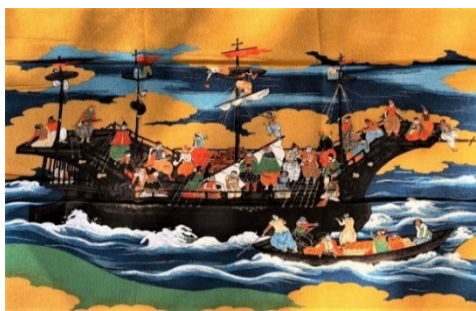
清酒・沢の鶴 TVCM 曲。マカオ政府観光局テーマ曲。1543年、種子島に鉄砲が伝来し西洋と東洋の出会いが「世界史」の表舞台に登場する。その風景を世界で唯一のポルトガルギターとマンドリュートのDUOで表現した。この曲の肝は「日本人がポルトガルギターを弾くとはどういうことか？」という自問自答である。たどり着けない本国の「ポルトガルギター」を「南蛮ぎたら」として読み換えたとき、自身のアイデンティティーに則して「うたう」ことは自然体であり、従って一本スジの通った立ち位置ではないかと、我が凡才一塊は不敵にもその覚悟を決めた。「南蛮渡来」はその記念碑である。

世界遺産

マカオ聖ヨセフ修道院聖堂の
フランシスコ・ザビエルの聖遺骨と



「南蛮文化館」より頂戴した風呂敷



南蛮文化館





2014年「夢で逢いましょう」篇

5、「南蛮コリドー」大分むぎ焼酎「二階堂」TVCM

湯淺隆

6、「南蛮マンダリーノ」大分むぎ焼酎「二階堂」TVCM

吉田剛士

映像はどれも珠玉。全ての作品にはこの国の「サウダーデ」とでもいうべき心象風景が満載。そこには音だけでは表せない「どこか」の発見がある。まさしく、ものづくりの醍醐味を味わえる希少な仕事だ。その奇跡的なご縁には感謝しかない。



2016年「還っていく夢」篇



二階堂 TVCM 全ライブラリー



2015年「孤独の風」篇

7、「お嬢さまの秘密」

湯淺隆・吉田剛士



故・高倉健さんの作・朗読のCD「南極のペンギン」の「ポルトガルの老シヨファー」に使用。全編の音楽は宇崎竜童さんだが、宇崎さんのご厚意で私どものみ番外編で起用された。高倉さんは、晩年の檀一雄の足どりを追ったドキュメンタリー「むかし男ありけり」でポルトガルを訪ねられて以来、プライベートでもしばしば訪泊されたと聞く。この作品はドキュメンタリーの革命児RKB毎日放送の木村栄文さん（エイブンさん）のもの。エイブン作品には、最晩年唯一のTVドラマ「オールドディック（2001年）主演・三國連太郎さん」の音楽を担当させていただいた。



8、「遠い海の記憶」

吉田剛士

海は遙か昔から陸と陸の間に広がり、人々の航海も見守ってきた。大航海時代、ヨーロッパから銀を求めて日本にやってきた人たちのことも。海を介した交易に深く関わりながらも森の中にある世界遺産・石見銀山。本曲はそのイメージをマンドリンで表現した。ちなみにマリオネットは「第6回／石見銀山文化賞特別賞」を受賞している。



9、「アルメイダの聖鐘」

湯淺隆

大分市医師会立アルメイダ病院 50周年のために作曲。日本初の西洋式病院を作ったポルトガル貴族出身のルイス・デ・アルメイダは、戦国時代末期に日本を訪れ、医師・宣教師・商人と3つの顔を持ち、ルイス・フロイスに「生ける車輪」と称される程に働いた。享年58歳・天草にて帰天。右QRコードの限定公演YouTubeでは、ロドリゲス先生にナレーションをお願いしました。あらためてこの場をお借りしてお礼申し上げます。大阪日ポ協会の皆さま、是非、ご覧くださいませ!!!



アルメイダ病院「アルメイダ資料室」

ルイス・デ・アルメイダ像



元アルメイダ病院医院長・杉村忠彦先生と

フランスコ・シャビエル・前駐日ポルトガル大使ご夫妻





大分・第 8 回宗麟公まつりにて「南蛮 BVNGO マンドリンオーケストラ」とジョイント

10、「南蛮 BVNGO」

湯浅隆

2017 年大分日本ポルトガル協会設立 40 周年記念曲として杉村忠彦会長（元アルメイダ病院医院長）からの依頼を受け作曲。同曲は大分市公式動画サイト『いいやん！大分』にも。大友宗麟の時代（大航海時代）に花開いた南蛮文化に想いを馳せ、当時の豊後府内のにぎわいや海外との交流などをイメージして作曲。ポルトガルギターのテクニクとしては最も多彩で難易度の高い技巧を使っている。「南蛮文化発祥都市おおいた」に捧げた曲である。

11、「南蛮舞曲」南蛮菓「さびえる」TVCM 曲(さびえる本舗創立 20 周年記念曲) 湯浅隆

大分でのコンサートの際、さびえる本舗の太田社長より「南蛮渡来、うちの会社のイメージにピッタリです！」と声をかけていただいたのが 4 年程前。その後さまざまなお縁が重なり、昨年秋よりこの曲が南蛮菓「さびえる」CM 曲として大分のテレビ・ラジオで流れている。「南蛮」のお縁に感謝もひとしお。



12、「わたしたちの明日は」

斉藤一郎

小山裕土の戯曲「泰山木の木の下で」の主題曲（作詞・小山裕土）この劇団民藝の名作の劇中、私どもは今年から「ギターを弾く男」として出演し「歌を唄う男（千葉茂則さん・右写真中央）」の伴奏をしている。初代の「歌を唄う男」は、演出も手がけた故・宇野重吉先生。当時の主役の八ヶ婆さんは故・北林谷栄先生で、現在は日色ともゑさん。私どもとしては、我が国の新劇の歴史に参加させていただき僥倖の極みで、日本人



ポルトガルギター(南蛮ぎたるら)弾きとしては、戦後日本の文化の深層に向き合えた最高峰の仕事と自負している。尚、日色さんとは 2004/11/02『第 39 回例会』でモラエスの「おヨネとコハル」の朗読で一緒もさせていただいている。

13、「唐街雨情」

湯浅隆

NHK ラジオ深夜便「深夜便のうた」作詞・湯浅隆／歌・グラシエラ・スサーナ。日本人ポルトガルギター弾きが作詞・作曲・演奏し、アルゼンチン出身の歌手スサーナが日本語で、簡素なメロディーに乗せて、南蛮の街・長崎を彷徨いながら愛しい人を想い唄う。「南蛮ぎたるら」弾きの「うた」へのアプローチである。カラオケにも収録。右 QR コードはスサーナが歌う「NHK ラジオ深夜便」の録音。



14、「夢は黒潮に乗って」

湯浅隆・吉田剛士

もとはパントマイムの清水きよし氏との共演のために作った曲。黒潮などの潮流は古くは交通の手段でもあり、南蛮人も黒潮に乗ってやってきた。閉塞感の強い時代だが、夢や希望を胸に大海に漕ぎ出た人たちのように愚直に前を向いて生きていきたいと思う。QR コード YouTube は「NHK スタジオパーク」と「台湾」での演奏。懐かしい&珍しいのセットで。

NHK スタジオパークから 第 44 回種子島鉄砲祭り「ZIPANGU マンドリンオーケストラ」

マリオネット & 台湾マンドリン楽団

こんにちは

